

## 社会福祉法人 千歳会 不当解雇の次は不当降格 県からの不正請求返還の責任を転嫁

### 不正請求→5000万円の返還命令なのに理事長はおとがめなし！

不正請求が発覚し、県から5000万円もの返還命令がされるという法人の重大な不祥事であるにもかかわらず、法人役員に対する処分は非常に甘い内容になっています。

- ・常務理事－事業部長へ降格。今まで聞いたことのない役職。実態は、変わらないという疑いが濃厚。
- ・事務局長－3ヶ月の減給。どの程度の減給なのか、実額としては等、一切不明。
- ・財務部長－3ヶ月の減給。どの程度の減給なのか、実額としては等、一切不明。
- ・人事部長－3ヶ月の減給。どの程度の減給なのか、実額としては等、一切不明。

・施設長－介護主任に降格。施設長後任が見つかるまで続投。というもので、処分内容が不明瞭ということもありますが、不祥事の内容に比して実に軽い処分となっています。

そしてさらに驚くのは、最高責任者である左理事長には一切の処分がされないということです。理事と評議員も同様です。処分通知書の最後には「懲罰とは別件になりますが…、左理事長から『給与の30%自主返納』の申し出があり、理事会で了承された」との一文があります。あくまで『自主』返納であり、処分は一切無しという異常さです。

さらに、法人理事会や左理事長からは、不正請求に対する経緯の説明も責任の所在も再発防止策も謝罪も一切示されていません。法人幹部の処分に当たるのかどうかも疑わしい「アリバイ的処分」で幕引きではなく、法人・理事長の反省と全職員に対する謝罪の意を表明することこそが必要です。

#### 「どうして現場介護主任が降格なのか！」怒り噴出

法人幹部には「アリバイ的」処分、理事長はおとがめなしなのに、「どうして現場の介護主任がまともな理由も示されずに、言い渡し翌日からの降格処分など受けなければならないのか」「不祥事の責任を現場に押し付けるな」職場からは怒りが噴出しています。

不正請求の責任を負うべきは、理事長をはじめ法人の幹部役員です。不祥事が発覚すると、その責任を現場労働者・職責者に負わせるのであれば幹部役員など必要ありません。

これを機に、理事長が率先して真面目に介護に取り組むよう強く求めます。そして、万が一そうした気が無いのなら、介護から手を引くべきです。



### 「明日から降格」

11月30日、職場では介護主任を務める内山千歳会労組委員長に対し、法人本部職員より「懲戒降格・減給処分、明日12月1日からは介護職員となります」と通告がありました。

県の監査により不正請求が発覚し、5千万円の返還が求められたことに関係するようですが、そのことが介護主任という職責とどのように関係するのか、懲戒処分とされる詳細な事由等は口頭でも書面でも一切示されないという酷いやり方です。

懲戒としての減給を伴う降格処分であれば、事前に事由等を詳細に説明し、本人の弁明の機会も設け、本人との合意が無ければ違法性が高いことは判例等からも明白です。

千歳会・左理事長は、1月には不当懲戒解雇を行いました。結局、労働審判において解雇

### 異常な降格処分

撤回・11月1日からの職場復帰との結論になりました。こうした教訓があるにも関わらず、今度とは懲戒降格処分です。左理事長に「学習」という言葉は存在しないのか、疑わざるを得ません。

千歳会労組からの経緯や対応内容の説明を求める要求書に対しても、処分内容と簡単な説明しか記載されていない「懲戒処分通知」を「見て下さい」という不真面目な対応となっており、団体交渉申し入れに対しても、具体的な日程を回答してきていません。

左理事長には、また撤回に追い込まれるというみつももない結果になるであろう内山委員長に対する不当な懲戒処分は止め、自浄能力を身につけ、それを発揮することを求めています。そして、団交に出席し堂々と議論して下さい！

### すべて連合会が代弁の異常

法人がまともな説明も反省も示さない一方で首都圏青年ユニオン連合会（馬場亮治社労士が創設）が、法人理事会に成り代わって、委員長や書記長、千歳会労組に対して「密告」した等と攻撃を始めています。

そもそも、公益通報者保護法や制度が強化されている中で、「密告」扱いは自己が、社会の進歩から乗り遅れた恥ずべき主張です。「内部告発より、まず社内問題とすのが筋」等の言い分は、不祥事を隠蔽する企業の常とう句です。指摘してきた通り、彼らの正体は単なるブラック労務コンサルタントです。

社会福祉法人は、高い公益性と厳格な法令順守が求められます。左理事長には、こうした法人の運営責任者である自覚を持ち、介護職員、千歳会労組としっかりと向き合い、地域住民に求められる介護を提供する介護職場づくりこそ全力をあげることを強く求めています。